【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成19年9月6日(2007.9.6)

【公開番号】特開2002-226406(P2002-226406A)
【公開日】平成14年8月14日(2002.8.14)
【出願番号】特願2001-27793(P2001-27793)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｃ　5/29　(2006.01)
Ｂ０１Ｄ　15/00　(2006.01)
Ｂ０１Ｊ　29/26　(2006.01)
Ｃ０７Ｃ　6/12　(2006.01)
Ｃ０７Ｃ　7/13　(2006.01)
Ｃ０７Ｃ　15/02　(2006.01)
Ｃ０７Ｂ　61/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｃ　5/29
Ｂ０１Ｄ　15/00　Ｋ
Ｂ０１Ｊ　29/26　Ｚ
Ｃ０７Ｃ　6/12
Ｃ０７Ｃ　7/13
Ｃ０７Ｃ　15/02
Ｃ０７Ｂ　61/00　３００

【手続補正書】
【提出日】平成19年7月20日(2007.7.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】エチルトルエンを含むトリメチルベンゼン異性体混合物から１，３，５－トリメチルベンゼンを製造するにあたり、
カリウムイオンをイオン交換サイトに含むフォージャサイト型ゼオライト吸着剤と、
トルエン、キシレン、エチルベンゼンから選ばれる脱着剤を使用し、
１，３，５－トリメチルベンゼンを吸着分離することを特徴とする１，３，５－トリメチルベンゼンの製造方法。
【請求項２】吸着剤が、カリウムイオンおよび銀イオンまたは鉛イオンを含むことを特徴とする請求項１記載の１，３，５－トリメチルベンゼンの製造方法。
【請求項３】エチルトルエンを含むトリメチルベンゼン異性体混合物から１，３，５－トリメチルベンゼンを製造するにあたり、
（１）エチルトルエンを脱エチル化反応、水素化脱エチル化反応、トランスアルキル化反応の少なくとも一つの反応と、トリメチルベンゼンの異性化反応を行う工程、および
（２）１，３，５－トリメチルベンゼンを吸着分離する工程、
を含むことを特徴とする請求項１または２記載の１，３，５－トリメチルベンゼンの製造方法。
【請求項４】（１）エチルトルエンを脱エチル化反応、水素化脱エチル化反応、トランスアルキル化反応の少なくとも一つの反応と、トリメチルベンゼンの異性化反応を行う工程において、水素存在下、水素化活性金属としてレニウム、ニッケル、白金から選ばれた少

なくとも１つの金属を含む酸型モルデナイトを用いることを特徴とする請求項３記載の１，３，５－トリメチルベンゼンの製造方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
すなわち、本発明は、
「エチルトルエンを含むトリメチルベンゼン異性体混合物から１，３，５－トリメチルベンゼンを製造するにあたり、カリウムイオンをイオン交換サイトに含むフォージャサイト型ゼオライト吸着剤と、トルエン、キシレン、エチルベンゼンから選ばれる脱着剤を使用し、１，３，５－トリメチルベンゼンを吸着分離することを特徴とする１，３，５－トリメチルベンゼンの製造方法」および
「エチルトルエンを含むトリメチルベンゼン異性体混合物から１，３，５－トリメチルベンゼンを製造するにあたり、（１）エチルトルエンを脱エチル化反応、水素化脱エチル化反応、トランスアルキル化反応の少なくとも一つの反応と、トリメチルベンゼンの異性化反応を行う工程、および（２）１，３，５－トリメチルベンゼンを吸着分離する工程、を含むことを特徴とする上記１，３，５－トリメチルベンゼンの製造方法。」である。